

倶高 PTAだより

令和4年3月24日発行
(第3号)
北海道倶知安高等学校
PTA事務局
倶知安町北7西2
Tel 22-1085
題字：小山内無石先生

やさしさのバトンを繋ぐ

PTA会長

森 禎樹



厳しい冬の後には必ず暖かな春が訪れ、雪が多く感じた今冬も終わってみればデタラメ的には例年並みであった倶知安町。日本でも有数の豪雪地帯において多少の不便さを感じながらも大きな混乱がなく生活できるのは、昼夜を問わず除雪作業に励んでくださる除雪作業員の方々のお陰である。雪は災害扱いとなっているらしいが、雪国に暮らす私たちは1年のうち約3か月は災害にあっていることになるのか。

おそらく日本一だと思っている倶知安町の道路除雪だが、流石にこまめな排雪とまではいかず、冬期間はどの道路も道幅が極端に狭くなってしまう。車ですれ違のが困難な場面も多いが、われ先にと進む車は見たことがない。お互い端に寄って道をゆすり合い、すれ違いざまに手を挙げるか軽く頭を下げる。少しほっこりする瞬間だ。もちろん歩行者においても同様である。また、雪道でスタックしている車があれば、通りがかりの人がたちまち集まってきて、みんなで車を押す。車が脱出した時の達成感と連帯感は何なのだろう。

う。私たちが普段当たり前と想ってやっている些細なことは、実は当たり前でも普通でもない。と、道外出身の知人から聞いたことがある。

毎年のように異常気象と聞く、何が正常で何が異常なのかかわからなくなる。ただ気候変動が起こっていると思うし、地球温暖化なのかと思うが、毎年きちんと雪は降る。災害だろうが異常気象だろうが降るものは降るからどうしようもない。それなら諦めて生活の一部として受け入れ、いつもの事柄しんてしまえとなるだろう。そう思うと豪雪地帯の生活にも心のゆとりができるのかもしれない。

「恩送り」という言葉がある。優しさや助けを受けた相手に返すのではなく、他の誰かに送るという意味で、英語では「ペイフォワード」という。自分でされて嬉しいことは人にもしてあげる。見返りを求めるでもなく、感謝されたいわけでもなく、只々、当たり前。やさしさのバトンを繋ぐスタートは自分なのかもしれない。



3月1日(火)卒業式

134名の生徒が本校を卒業しました。

困難な時代を生きる

校長 西川 勤



世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症は、社会の課題を浮き彫りにする一方で、ICT技術を活用したリモートワークなど、新しい働き方を生み出す契機となりました。リモート会議も一般化しつつあり、アフターコロナにおいても継続することが予想されます。対面でしか伝わらない空気感もあります。が、それぞれの利点を生かしつつ、コミュニケーションの一つの選択肢として補充しあい、これまで以上に人と人とのつながりが円滑にできればと思います。

世界では、地球上の環境破壊、紛争、差別、貧困などをなくし、持続可能な明るい未来を築くための指標としてSDGsの17の到達目標(Goal)を定めました。現状、コロナ禍による世の中の数か月先の見通しを立てることさえ難しい閉塞感、ロシアのウクライナ侵攻等国際情勢の不安定さ、国内外における課題は枚挙に暇がありません。

より良い生活を求める中で、犠牲にしていることがないか、バランスを考え対処しなければならぬ難しい時代です。課題解決には、多様な人々と知恵を出し合い、協働して取り組むことが求められる時代となりました。これまで得た知識を、場面に応じて活用し、自ら考えて課題を発見し解決していく力、すなわち、「創造する力」が求められています。

しかし、「ピンチはチャンス」、困難は、変革の原動力であり、よりよい社会の力となるともいわれています。本校といたしましても、子どもたちに期待されるこれらの力が身に付けられるよう今後とも教育活動を展開してまいりますので、よろしくお願いいたします。

結びに、保護者の皆様との一年間の本校教育活動に對しましての深いご理解と心強いご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご支援を申し上げます。

学校評価アンケートの結果について

今年度も学校評価アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。各評価項目については、A～Dの4段階で評価いただいたものを、Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点として換算し点数化しています。表中の平均値は最大4.00、最低が1.00になります。

昨年度と平均値で比較すると、教職員自己評価は0.01ポイント上昇。生徒評価は0.31ポイント上昇。保護者評価は0.07ポイント上昇とすべて上昇しました。
このデータをもとに今年度の自己評価書を作成し、学校評議員会において学校関係者評価

を行うとともに、来年度に向けての改善事項をまとめ、教育活動の充実を図ってまいります。

分野	番号	評価項目	教職員	生徒	保護者
学校教育目標	1	広い視野をもち、的確な判断ができる生徒の育成	3.25	3.41	3.15
	2	責任重んじ、思いやりの心をもつ生徒の育成	3.30	3.42	3.31
	3	健康な身体と豊かな情操をそなえた生徒の育成	3.20	3.32	3.19
	4	学校教育目標を具現化する日常的教育活動	3.05	2.93	3.00
学習指導	5	学力向上や基礎基本の定着を図る指導	3.45	3.47	3.21
	6	シラバスの活用方法や評価方法の説明	3.05	3.59	3.17
	7	「単位制」としての教育課程の充実	2.90	3.51	3.24
	8	授業改善への取り組み	3.30	3.20	2.97
	9	家庭学習が行われる工夫	3.40	3.31	3.10
生徒指導	10	挨拶や身だしなみ、礼儀の指導	3.30	3.59	3.25
	11	いじめの未然防止、早期発見、早期解消への取り組み	3.15	3.25	2.99
	12	問題行動の防止に向けての取り組み	3.10	3.28	2.97
	13	自律した行動が身につく指導	2.95	3.40	3.24
	14	教育相談体制の整備	3.05	3.17	2.86
特別活動	15	地域に貢献する活動の取り組み	2.70	3.11	2.82
	16	部活動への参加	3.20	3.46	3.22
	17	生徒会活動への参加	3.00	2.94	2.99
進路指導	18	3年間を見通した進路指導	3.40	3.47	3.29
	19	必要な進路情報の提供	3.40	3.62	3.21
	20	望ましい職業観・勤労観の育成	3.30	3.30	3.04
	21	資格取得や各種検定の推進	3.05	3.48	3.11
健康安全指導	22	健康状態の把握やけがや疾病を予防する指導	3.20	3.38	3.11
	23	自らの身を守るための行動の育成	3.00	3.31	3.02
	24	美化の推進やそれを保持する態度や実践力の育成	3.25	3.17	3.02
学校運営	25	学校の広報活動(HPや学校だより)の充実	2.75	3.31	3.00
	26	備品や設備の整備	3.00	2.99	2.72
	27	PTA活動の活性化	2.65	3.10	2.77
	28	保護者や地域との連携	3.00	2.87	2.75
	29	効果的な学校行事の設定や調整	2.95	3.09	2.71
	30	地域の教育力の活用	2.70	2.94	2.58
平均			3.10	3.28	3.03

「北海道立学校ふるさと応援事業」 ご協力をお願い

本事業は、北海道の次代を担う子どもたちが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、北海道を支えるたくましい人材へと成長できるよう、ふるさと納税等(寄附金)を活用し、北海道立学校における教育活動の充実に、皆様のご支援・ご協力をお願いするものです。

本事業は、**学校名を指定**して寄付を行うと、その寄付の**50%は指定した学校が活用**し、残りの50%は全道立学校が国際交流等の事業に活用するというものです。本校では次のとおり事業計画を提出し、寄付の活用が認定されているところです。

つきましては、本校HP等で事業の詳細や申込・納付方法等をご確認いただき、是非、**本事業にご協力**いただきますようお願い申し上げます。

本校の事業計画名	
倶高NEXT100プロジェクト ～ 倶知安高校全力応援ファンディング ～	
本校の事業概要	
令和4年(2022年)に学校創立100周年を迎える本校が次の100年(NEXT100)も地域にとって「自慢の学校」であり続けるために、「ふるさと応援事業」を活用し、生徒たちが生き生きと学習・部活動・地域貢献活動等に専念できる環境づくりを進める。	

本校の具体的な活用方法(予定)	
1 グローバル化に対応する環境づくり	○タブレット端末、Wi-Fi環境等の整備 ○海外姉妹校の検討と交流 ○地域に住む外国人による講話や交流 ○帰国・外国人生徒の学習環境整備に係る研究
2 部活動の活性化のためのサポート	○老朽化した施設・設備の補修 ○ボランティア活動・地域貢献活動に係る経費の補助 ○特色ある部活動やオリンピック等で国際的な活躍を期待される生徒への支援
3 「100周年記念事業」などのタイアップ	○記念施設検討(設計)の補助 ○記念講演等の補助 ○吹奏楽局・新聞局・放送局等への補助
※初年度に関しては「(2)部活動の活性化のためのサポート」を重点的に進めます。	



三年次の進路状況

種 別	合格者延べ数	進路決定実数
国公立大学	15名	15名
私立大学	106名	53名
短期大学	7名	6名
看護学校	9名	6名
専門学校	27名	26名
公務員	23名	15名
民間就職	6名	6名

3月15日現在

主な進路先

〔国公立大学〕

室蘭工業大学、名寄市立大学、札幌市立大学、北海道教育大学岩見沢校、北海道教育大学函館校、北海道教育大学釧路校、北見工業大学、小樽商科大学、長岡造形大学、信州大学、弘前大学

〔私立大学〕

札幌学院大学、北海道千歳リハビリテーション大学、北海道情報大学、藤女子大学、北海道医療大学、北海道科学大学、札幌学院大学、北星学園大学、札幌大学、札幌国際大学、北海学園大学、天使大学、札幌国際大学、北海道文教大学、札幌保健医療大学、日本医療大学、北海商科大学、国土館大学、別府大学、東京農業大学、専修大学、中央大学、東洋英和女学院大学、帝京大学、大東文化大学、日本大学、拓殖大学、立正大学、横浜商科大学、足利大学、東洋大学、神田外語大学

〔短期大学〕

北海道武蔵女子短期大学、光塩学園女子短期大学、北星学園大学短期大学部、札幌大谷大学短期大学部、札幌国際大学短期大学部

〔専門学校〕

札幌医療秘書福祉専門学校、札幌プライダルアンドホテル観光専門学校、北海道芸術デザイン専門学校

大原医療福祉専門学校、専門学校札幌デザイナー学院、経専北海道どうぶつ専門学校、吉田学園医療歯科専門学校、札幌ベルエポック美容専門学校、北海道美容専門学校、くしろせんもん学校、大原僕情報専門学校札幌校、北都保健福祉専門学校、札幌医学技術歯科専門学校吉田学園公務員法科専門学校、東京観光専門学校

〔看護学校〕

北海道看護専門学校、小樽市立高等看護学院、日鋼記念看護学校、JA 北海道厚生連旭川看護専門学校、駒沢看護専門学校、市立函館病院高等看護学院、日本赤十字北海道看護大学

〔公務員〕

倶知安町役場、京極町役場、二セコ町役場、蘭越町役場、自衛官候補生、黒松内町役場、島牧村役場、北海道職員、札幌市消防局、国家公務員、北海道運輸局、喜茂別町役場

〔民間就職〕

藤信建設株式会社、株式会社アーテス函館、株式会社ルピシアグルマン、ようてい森林組合、イオン北海道株式会社 他

子ども相談支援センター

相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み
子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど
相談してください。

●電話相談

☎0120-3882-56 (無料、24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

離任者紹介

この度、10名の教職員が
本校を離任することとなり
ました。新天地での活躍
をお祈りいたします。

◆西川 勤 校長

小樽桜陽高校へ

◆荒木 雅幸 教諭

芸術(音楽)科

◆横堀 晃 教諭

地歴・公民科

◆浜谷 稔 教諭

英語科

◆小山内 義輝 教諭

夕張高校へ

◆熊谷 涼子 教諭

伊達開来高校へ

◆山本 一葉 教諭

有朋高校へ(復職)

◆福田 倫久 教諭

旭川西高校へ

◆大山 天 教諭

天塩中学校へ

◆寺下 水樹 実習助手

北広島西高校へ

令和3年(2021年)度 部活動大会結果(12月11日～)

スキー部(アルペン)

高等学校スキー選手権大会	男子GS 26位/47人中 宮崎(インターハイ権利獲得) 女子GS 13位/23人中 松澤(インターハイ権利獲得) 男子SL DNF 女子SL 13位/22人中 松澤(インターハイ権利獲得)
国体北海道予選会	男子GS 31位/49人中 宮崎 女子GS 20位/26人中 松澤
全国高等学校スキー大会	男子GS 33位/168人中 宮崎 女子GS DNF 男子SL 64位/162人中 松澤
全国高等学校選抜スキー大会	男子SG 45位/107人中 宮崎 女子SG 64位/71人中 松澤 男子GS DNF 女子GS DNF 男子SL DNF 女子SL DNF

スキー部(クロスカントリー)

第74回南・北北海道高等学校 スキー競技選手権大会	●10kmクラシカル 1位 三田 2位 古田 3位 久保 5位 安藤 7位 伊藤 9位 細口 11位 田村 ●10kmフリー 1位 三田 2位 古田 4位 久保 6位 伊藤 7位 細口 8位 安藤 11位 田村 ●10km×4リレー 優勝 1走 久保 2走 三田 3走 古田 4走 伊藤 ●学校対抗 2位
令和3年度全国高等学校 総合体育大会 第71回全国高等学校スキー大会	●10kmクラシカル 16位 三田 10位 古田 14位 久保 27位 安藤 ●10kmフリー 4位 古田 10位 三田 26位 伊藤 38位 久保 ●10km×4リレー 6位 1走 久保 2走 三田 3走 古田 4走 伊藤
第77回国民体育大会 冬季スキー競技会	●10kmクラシカル 14位 古田 22位 三田 ●10km×4リレー 優勝 1走 久保 2走 三田 3走 古田 4走 伊藤
第34回全国高等学校 選抜スキー大会	●10kmクラシカル 6位 三田 33位 古田 36位 伊藤 37位 久保 ●15kmフリー 8位 三田 14位 古田 ●1.2kmSPフリー 7位 古田 16位 伊藤 30位 久保
JOCジュニアオリンピック オリンピックカップ2022 全日本スキー選手権大会	●10kmクラシカル 10位 三田 ●10kmフリー 3位 古田 8位 伊藤 10位 三田

バドミントン部

北海道高等学校新人バドミントン大会 兼第48回全国高等学校 選抜バドミントン大会北海道予選会	団体戦(1回戦) 男子 対 札幌第一 1-3 女子 対 函館西 2-3 個人戦 ダブルス 藤・土井 対 北海 0-2 シングルス 藤 対 札幌北斗 0-2
後志地区冬季ダブルス大会	中止

男子バスケットボール部

第34回北海道高等学校 バスケットボール新人大会 小樽地区予選会	1回戦 シード 2回戦 対 岩内高校高校 160-88(敗退) 3位決定戦 対 小樽明峰高校 111-68(第3位)
--	--

女子バスケットボール部

第34回北海道高等学校 バスケットボール新人大会 小樽地区予選会	1回戦 対 小樽明峰高校 43-141(勝利) 2回戦 対 小樽双葉高校 22-112(敗退) 3位決定戦 対 小樽潮陵高校 34-165(第4位)
--	--

ソフトテニス部

小樽支部高等学校新人戦 インドアソフトテニス大会	優勝 神・石見 ペア 準優勝 丸田・阿部 ペア
北海道高等学校 新人ソフトテニス選手権大会 (団体戦)	団体戦 2回戦敗退
北海道高等学校 インドアソフトテニス 選手権大会	神・石見ペア 3回戦敗退 丸田・阿部ペア 1回戦敗退

男子テニス部

小樽室内ジュニアテニス シングルス選手権大会	中島 2回戦敗退
小樽室内ジュニアテニス ダブルス選手権大会	千葉・美藤ペア 中島・岡田ペア 本多・作田ペア 2回戦敗退

女子テニス部

小樽室内ジュニアテニス シングルス選手権大会	個人戦シングルス出場
小樽室内ジュニアテニス ダブルス選手権大会	個人戦ダブルス 出場

男子バレーボール部

第17回北海道高等学校 バレーボール新人大会	大会中止
---------------------------	------

女子バレーボール部

第17回北海道高等学校 バレーボール新人大会	大会中止
---------------------------	------

卓球部

令和3年度北海道高等学校 選抜卓球大会	男子学校対抗戦 出場 男子ダブルス 渡辺・工藤組 出場 女子ダブルス 松田・遠藤組 出場 女子シングルス 遠藤 出場
------------------------	---

少林寺拳法部

第28回少林寺拳法競技 北海道大会	女子自由組演武 片平・打田 出場 女子自由単独演武 藤崎 出場
----------------------	------------------------------------

剣道部

第41回北海道高等学校 新人剣道大会	男子団体戦 予選リーグ敗退 個人戦男子 松川 2回戦敗退 個人戦女子 森井 2回戦敗退
-----------------------	---

美術部

道展U-21	金子、内田、佐藤 入選
--------	-------------

*全道大会出場結果

*全国大会以上出場結果

編集後記

本PTAだより発行をもって
今年度の全業務が終了いたしま
した。一年間ご協力ありがとうございました。
次年度もPTA活動へのご理解
ご協力をお願いいたします。

令和3年度 本部役員

会長 森小 副会長 長問
事務局長 伊野 理事 岩上 監事 野田
事務局 西藤 事務局 赤木 事務局 福岡
事務局 大崎 事務局 須藤 事務局 高橋
事務局 渡部 事務局 児玉 事務局 横山
事務局 寺下

森小 長問 野田 岩上 伊野 西藤 赤木 福岡 大崎 須藤 高橋 渡部 児玉 横山 寺下
水 和 美 春 洋 祐 憲 伸 慎 直 洋 良 正 貴 雄 禎
樹 天 晃 子 彦 也 康 介 治 隆 真 二 樹 一 勤 子 敏 弘 樹 樹 修